

フラウンホーファー研究機構エレクトロ・ナノシステム研究所(FhG ENAS) (ドイツ連邦共和国) と学術交流協定を締結

11月8日(火)に東北大学原子分子材料科学高等研究機構とフラウンホーファー研究機構エレクトロ・ナノシステム研究所との部局間学術交流協定調印式が仙台市内において開催されました。

調印式では、奥山恵美子仙台市長、ハンスーヨルガ・ブリンガーフラウンホーファー研究機構理事長、飯島敏夫(東北大学理事)、その他関係者の立会いのもと、山本 嘉則機構長とフラウンホーファー研究機構のトーマスゲスナーENAS 所長、ジョーグ・ローゼンフェルド経営企画部長とが協定書に署名を行いました。

トーマスゲスナー教授は、WPI-AIMR 創設以来、PI(主任研究者)として参画しており、今回の部局間協定により両機関の研究交流が活発になると共に、双方の研究、特に MEMS 分野の領域でさらなる共同研究が期待されます。

